

自然風景切手から考える

小川 義博

はじめに

10年前、本誌51号にオーストリア切手を取り上げ雑文を書いた。美しい自然環境に恵まれながら自然風景より建築物が切手になることが圧倒的に多く、しかも自然風景だけの切手はほとんどなく、わずかな自然風景切手にも人の手が加わった家屋、柵等が描かれており、何とも言えない違和感を覚えた。



やっと見つけた自然景観だけの切手



自然風景になぜ建物、柵が描かれているか考えさせた切手
オーストリア切手



建物、市街風景切手のなかどうにか見つけた
自然風景を描くドイツ切手



スイス
国立公園

その後、ドイツ、フランスの切手を整理し、さらにこの違和感を強くした。ドイツは10年前であるが写実的な自然風景は絵画切手にわずか

1種のみで都市風景、建築物、産業構造物切

手が非常に多い。フランスは少し異なり、自然風景切手は見られるが、都市風景、建築物を描く切手が8倍ほど見られる。スイス、スウェーデンは自然風景と生活、余暇、建物、自然の恵みを組み合わせて描いた切手が多く、我が国のように自然のみを中心に描く切手は目立たない。



自然に親しみ楽しむ意匠を描く
スラニア凹版スウェーデン国立公園切手

このようなことが10年を経過した現在でも見られるか、合わせて隣国の韓国、中国についてこれら5ヶ国と違いがみられるか検討し、東西での自然観が切手に反映していないか検討出来ればと考えた。

まずは、日本の自然を描く切手を整理した。

日本切手に描かれた自然

自然風景を描いた切手は数多くあり、整理するのが煩雑であるので観光、旅をテーマに発行されたものを除き国立公園、国定公園、山岳切手シリーズを中心に整理した。3

シリーズで 93 件、241 種 (国立公園 45 件、107 種 国定公園 41 件、74 種 山岳シリーズ 6 件、60 種) であった。世界初の国立公園切手のアメリカ・イエローストーン国立公園に遅れること 2 年の 1936 年に我国の国



4 色で統一された国立公園
印刷会報会員は下記でカラー確認ください

<http://post-stamp.org/ogawaimg/nationalpark4color.pdf>



アメリカ 1936 年発行
国立公園切手 2 種と
普通切手等に描かれた
国立公園



立公園切手は発行されている。当初から観光を意識した発行であろうか、戦前戦後を通じ 1952 年まで 1 件 4 種で、計 14 件 56 種の切手が UPU 規約に従い国内用 2 種は茶、緑、海外用の高額料額 2 種は赤、青で印刷されている (左記画像)。このような発行は他に見られない。さらに、これらの国立公園切手に限ってみても 17 年間に 54 種類発行という頻度は他の国に見られないものであることに注目される。最初の国立公園切手発行国アメリカでさえ 1934 年に 10 種発行された以降現在まで単発的な発行で約 50 種の発行に止まっている。

このように海外向け PR を意識してスタートしたと考えたい自然風景切手。描かれている対象にどのようなものがあるか整理した。人間、動植物、家屋、建造物、舟等が全体の約 30% に自然風景の中に描かれている。3 つシリーズで国定公園切手の約 60% に自然風景と自然以外のものが描かれており、国



人の姿、舟、動物、住宅、市街等が60%の切手に
自然風景に加えられている国立公園切手

立公園、山岳シリーズとは異なる自然のとらえ方がされている。また、自然のなかに人間、神社関連施設が国立公園に描かれていたことが注意されたが、全体としてヨーロッパ切手の自然風景とは雰囲気、がやはり異なっていた。

最近 10 年の

ヨーロッパ切手の自然風景

最近の発行を各国別にネットで調べてみた。オーストリアは建築物切手が多いこと、自然美観シリーズ切手にも人工物、動物などが描かれており大きな変化は見られなかったが、建築切手が圧倒的に多かった普通切手に自然風景切手がカラーで発行されるという変化が見られた。ドイツは 10 年前には絵画切手に描かれた自然しか見つ

けられなかったのが、まだ建築物の切手が多いものの過去に比べれば多くの自然風景の切手が国立公園切手を中心に独特の描写手法で発行される変化がおきている。フランスは自然風景より建築物切手が圧倒的に多いが印刷・色彩、自然描写に変化がみられる。スイスも過去のデザイン化された単色の切手ではなく、歴史は古く 1914 年に設立された国立公園が最近になってようやく美しい切手となり発行されている。スウェーデンは人間が自然に親しみ、楽しむ存在であることを風景描写に含んでいると感じる切手を多色カラーで発行している。このように最近 10 年の



オーストリア 2020 年代に発行された国立公園普通切手 日本とは自然の切り口が異なるようだ



2000 年以降発行されたドイツ国立公園切手
日本とは異なる自然の切り口を感じさせる



2000 年以降やや増えたフランス自然風景切手
他に見られない意匠で自然を描いている



自然の恵み、自然の楽しみ、自然保護と他国と
異なる自然の価値を訴えるスウェーデン国立公園切手



自然保護と観光を目的と理解できる
自然情景を描写したスイスの国立公園切手

5ヶ国の自然風景切手の発行は以前と比べると多くなり色彩も豊かになってきたと感じるが、同時に自然風景切手より動植物切手の発行が我が国より多く特に昆虫を描く切手が多いことなどから直接的に自然自体でなく自然環境保護・生物保護を訴える意識を切手発行に感じる。

中国、韓国切手の自然風景

西欧5ヶ国を検討し、アジア、特に隣国の韓国、中国で自然風景切手がどのように発行されているかを調べ、東西で切手発行に差があるのかを少しでも調べられればと考えた。

この20年、韓国切手は年平均66種、(SD19.8)の発行と我国から見ると落ち着いた羨ましい発行状況であり、シール切手も



染料植物シリーズ

薬用植物シリーズ

韓国の蘭シリーズ



鉄道車両シリーズ



伝統文化シリーズ

古木・歴史樹シリーズ

少ないという、私のような高齢収集家にとっては懐かしい姿である。発行内容も過去見られた政治的、軍事的な内容切手は少なくなり、デザイン、印刷も見違えるような切手が多く、我国よりはるかに魅力を感じる切

手が多いようである。記念切手は一昔前の日本切手のようで身近な事項の記念する切手が多く親しみが持て、シリーズ切手には独自の切り口のシリーズが見られ、韓国蘭



韓国の河川シリーズ 四季

シリーズ、染料植物シリーズ、古木・歴史的樹木シリーズ、伝統文化歴史シリーズ等が興味を持たせた。鉄道シリーズには機関車だけでなく貨物車両、線路点検車両が加わり我国の機関車

中心のシリーズと異なり、鉄道への理解を深めるものになっている。自然風景では国立公園は見つけられなかったが、山岳シリーズ、河川シリーズ、湖シリーズ等に分類し、さらに四季を加味したものも発行しており、我国と異なる形での発行がみられる。次頁のように自然風景に建物等を入れたものは少なく、我国と同じく今回対象の欧州5ヶ国とはやはり異なっていると考えたい。このことを植物相、地形の似て



韓国の湖シリーズ



韓国の山岳シリーズ



韓国の名所シリーズ



中

国の



最近の我国の風景切手
横長よりも縦長切手が圧倒的に多く発行されている

いることだけからとばかりは考え難い。更に、資料が乏しいが中国に目を移すと左下のように横長に自然をパノラマ描写した美しい切手、動植物保護を同時に訴える切手などが発行されている。これらを見ても西欧の切手より日本、韓国の自然描写に近い感じを受ける。我田引水と叱られると思うがやはり自然の切手への描写に東西で差があり、自然観の相違を感じとれるか。

韓国、中国の自然風景切手を目にして両国とも横長切手が多いのに対して、我国の最近の自然描写切手を見ると逆に下記のように縦長切手が多くなっている。縦長の画面に自然風景を描写することの是非も検討されてしかるべきであろう。この問題は記念切手にも見られ、最近では鉄道、航空関係の記念切手に見られる程度である。

最後に我国の自然風景切手に人が描かれていることが注意された。国定公園切手以外に国立公園切手にも下記のように見られたが、今回、他

の国には見られなかった。



風景の中に人を入れた切手は我国以外には極めて少ない